

## 平安神宮奉納古武道大会に参加して

拳正会空手道 拳志館 高一 福井 来実

拳正会空手道に入門して九年目、あこがれの黒帯をしめることが出来、そして昨年は広島県の厳島神社で演武大会に参加し、今回は有形文化財でもある平安神宮「額殿」で演武することが出来ました。館長の大西先生から演武大会の様子を聞くと、歴史的な由緒ある場所、居合、柔術、古武道など、多くの先生方の演武があるし、見学する事も武道の勉強では大切な事だよと、出場を進められました。まだまだ未熟な私にこういった機会を与えて頂いたことを感謝し、一生懸命頑張ろうと思いました。今までは型は試合で優劣を競い、演武は師範がするもので私達は見学するだけでしたが、今度は私達が演武をするのです。私にこんな大役が務まるのだろうか、不安な気持ちもありましたが四人の仲間と共に練習に励みました。それぞれが自分のペースで型をすると少しずつずれてしまうので皆で呼吸を合わせることを心掛けました。そして演武会当日、大勢の見学者今迄と違った緊張感でいっぱいです。整列 正座 黙想 正面に礼、指導者への礼、いつもの動作をしている内に気持ちが静まり落ち着いてきました。師範の号令のもと、気合を入れて型演武を行いました。いつもとは違う床の感覚や声の響き方に、とても緊張してしまいました。身体が震えて、型がちゃんとできているのか心配でした。型の最後の気合を入れた時は、

ほっとした気持ちと、ひとつの事を仲間と一緒にやり遂げたという達成感がありました。演武終了後、珍しく師範が「上手に出来たよ」と誉めてくれたのがうれしくて、そして最後の表彰式では、何と私は拳正会空手道を代表して特別参加賞を頂くことが出来ました。これからも練習を続け、演武された他の先生方のように成りたいと強く思いそして空手道をやっていて良かったと思いました。

## 平安神宮奉納演武大会に参加して

拳正会空手道連盟 拳真館 小五 小屋 陽平

ぼくは、空手を小学一年生から始めて五年になります。始めた理由は、自分の身は自分で守らないといけないと思ったからです。通っている道場は拳真館で弟の翔平といっしょに練習にがんばっています。演武大会はぼくと、翔平と同じ道場の伊藤さん、拳有館の松本君の四人で演武をしました。最初の練習は、息があまりあわなかったけれど何回も練習するとみんなの息が合ってきて、だんだん上手になっていきました。平安神宮は、鳥居が大きくてびっくりしました。そして赤い色できれいです。